

八幡塾・祭囃子特集号

第 8 1 号
平成27年3月31日

発行 八幡コミュニティ
責任者 早川義一 TEL 32-0144
印刷 八幡コミュニティ
編集 総合管理本部

やわたコミュニティ

《ふるさと検定試験実施》

平成27年1月11日
於 青少年会館

郷土の誇りを学ぶ《個人学習編》

「やわた博士」
二七名誕生
次はあなただも
挑戦 !!



「やわた博士」認定賞



公式テキストブック



第一回八幡ふるさと検定試験が行われ、八歳から八四歳の35名の方々が受験されました。受付時間開始前から多くの受験者が来場され、試験に臨む真剣さが感じられました。受付を済ませた受験者の皆さんは、各自の席に着き、テキストを見直す人、顔見知りの人と談笑してくつろぐ人、目を閉じて精神集中する人等、リラククスする中にも緊張感があふれていました。採点の結果、27名の方が「やわた博士」(70点以上)に認定されました。おめでとうございます。認定された方々には、「やわた博士」認定証と認定賞が贈呈されました。

「やわた博士」認定証





杉山祭囃子保存会

公会堂での祭囃子練習風景



杉山敬老会での演奏風景



中小根祭囃子保存会

中小根敬老会での演奏風景



公会堂での祭囃子練習風景



廻間祭囃子保存会

公会堂での祭囃子練習風景



八幡神社祭礼での祭囃子奉納風景



中島祭囃子保存会

中島公民館での祭囃子練習風景



八幡地区祭囃子保存会の活動

「八幡地区祭囃子保存会」現況

平成26年7月1日現在

	八幡	荒古	廻間	中島	中小根	八幡・浜小根	杉山
講師人数	28	5	6	3	5	4	5
生徒人数	89	16	14	7	17	16	19
練習日・時間	毎月2回 第1・3日曜日 午前10時から 約1時間	毎月1回 第3金曜日 午後7時から 8時30分	毎月2回 第1・3木曜日 午後7時から 約1時間	子ども毎月2回 1時間 大人毎月4回 1時間	毎月3回 第2・4日曜日 1時間 第3日曜日 1時間	毎月2回 第2・4日曜日 子ども午後5時 大人午後7時 1時間	杉山の祭囃子
練習曲名	下河 打込み 雷ばやし 辻わかれ 十日ゑびす	茶釜 祇園囃子 十日戒 打込み はね	中島祭囃子 一切から四切	祭囃子 一切から六切 大々神楽 一切から六切	下河 打込み 雷ばやし 辻わかれ 十日ゑびす 梵天		
参加行事							
八幡神社祭礼	○	○	○	○	○	○	○
産業まつり	○				○	○	
元旦祭	○						
公民館文化祭							○
敬老会	○				○		○
祇園祭					○	○	

祭囃子保存・伝承活動は、平成二十五年度に各字・町内会自身での運営体制へ移行して、今年で二年目になりました。昨年度は一年目という慣れない環境で、練習・成果発表も手さぐりの状態ではあったが、一生懸命頑張ってきた。二年目となる今年はその経験を生かして、貴重な伝統芸能である祭囃子を若い世代に何とか伝えていくため練習に励んでいます。

各保存会・愛好会におきましては、講師の方々の高齢化、若い世代の練習生（特に子どもたち）の確保など、課題を抱えながらもお囃子の練習や新規参加者の勧誘に取り組んでいきます。

今年度は中島と西平井の屋形が、文化庁の助成金によって全面的に修復され、製作当時の姿に復元されました。地域文化の粋を極めた豪華な装飾をぜひご覧になってください。

少しでも昔なつかしい祭囃子の音色に興味をもっていただければ、練習教室にきていただけるよう、地域の皆さんのご支援・ご協力をお願いいたします。



八幡・浜小根祭囃子愛好会

神明社での祇園祭演奏風景



修復された中島（右）と西平井（左）の屋形



荒古祭囃子保存会

知多市産業まつりでの演奏風景



公会堂での祭囃子練習風景

なわとびを
楽しむ会



八幡コミュニティ主催のなわとびを楽しむ会が行われ、大勢の小学生が参加しました。子どもたちは、前とび、後ろとび、二重とびの各種目を低学年と高学年に分かれて競い合いました。日ごろの練習成果を出し切ろうと、元氣よく各種目に一所懸命挑戦していました。

同伴の父兄もわが子の結果に一喜一憂しながら声援

第11回 わがまち再発見

中島

組長 平松政

西平井

組長 鰐部了介

「中島」と言えば、「天白社」。八幡神社の祭神の応神天皇が杉山の神功皇后社へ年に一度お渡りになっていたが、ある年嵐に遭い、途中の天白社にお立ち寄りになったことから、神輿のお渡り神事が現在の形になったという。

次に「光明寺」。境内の貝塚伊吹の大樹は樹高が十メートルもあるうかという古木で、その幹の洞には白蛇が棲みついている。年一度は必ず出て来て、それを見た人は縁起がよいそうだ。また、寺には彼の有名な「円空仏」が一体保存されている。大きくはを送っていました。幸い怪我も事故もなく、楽しむ会は終了しました。表彰式では優勝者には賞状と賞品が手渡され、参加者の皆さんにもお菓子が配られ、楽しいひと時はあつと言う間に過ぎ、良い思い出となりました。

光明寺境内の貝塚伊吹の大樹



寺本七薬師のひとつ甚平薬師は、西平井公会堂横に祀られています。老人会の骨折りで色とりどりの花や幟が賑やかに飾られ、毎月八日には御供え物が供えられお経もあげられて、土地の方々がお参りしています。

言いつくす。昔の中島村に平松甚兵衛と言う人が住んでいて広大な屋敷を構え、尾張藩への資金を調達する立場にいた。当時、尾張藩は新田開発に力を入れていて、甚兵衛に「新田造成」の藩命が下った。着工に先立ち、信心深い甚兵衛は、予想される難工事の無事を祈って、浦浜新田の片隅に堂を建て薬師如来を祀った。最大の難工事の汐止め作業に失敗し、莫大な負債のみが残り、平松甚兵衛家は没落してしまつた。

第一回ふるさと検定試験正解

問題番号	正解	問題番号	正解	問題番号	正解
1	○	18	○	35	ウ
2	×	19	×	36	ウ
3	×	20	○	37	ウ
4	×	21	イ	38	ア
5	×	22	イ	39	ア
6	○	23	ア	40	イ
7	○	24	ア	41	ア
8	○	25	ア	42	ア
9	○	26	イ	43	ア
10	×	27	イ	44	ウ
11	○	28	ウ	45	イ
12	○	29	ア	46	ア
13	○	30	イ	47	ア
14	×	31	イ	48	イ
15	○	32	イ	49	ア
16	×	33	ア	50	ア
17	○	34	イ	得点	100点

横須賀高校を初め、各校の校歌の作詞をした東大出の碩学、「早川甚三」先生も中島である。一六〇〇年頃の検地の時代から「寺本四カ村のひとつ」として古い歴史を持つわがまちの現在の人口は七〇〇人弱。最近では若い人々の流入もあり、新築住宅も増えつつある。

寺本七薬師のひとつ甚平薬師は、西平井公会堂横に祀られています。老人会の骨折りで色とりどりの花や幟が賑やかに飾られ、毎月八日には御供え物が供えられお経もあげられて、土地の方々がお参りしています。

寺本七薬師のひとつ甚平薬師



協力者であった平井村の庄屋、庄九朗がそのお薬師さんを西平井地区に移して祀った。祀られた薬師はもととは甚兵衛が祀つたので、その名が付けられて「甚兵衛薬師」となった。